

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2019～2020年度 高山中央RC会長テーマ

～「躍動！」～ Move up



◇ 会長 坂之上健一 ◇ 幹事 堀口 裕之 ◇ 会報委員長 和田 良博 ◇ 会報当番 田中 雅昭

創立 1991年5月20日

事務局 高山市本町1-2 (飛騨信用組合本町サテライト出張所3階)
TEL:0577-36-0730 / FAX:0577-36-1488

例会場 ひだホテルプラザ3F / TEL: 0577-33-4600

例会日 毎週月曜日 PM12:30～

H P <http://www.takayamacrc.jp/>

出席報告

| | 会員数 | 出席会員 | 出席 | Make-up | 出席率 |
|--------------|-----|------|-----|---------|--------|
| 本日 1230回 | 56名 | 55名 | 45名 | | 81.82% |
| 前々回 1228回 | 55名 | 54名 | 42名 | 3名 | 83.64% |

● 12:30 点 鐘

● ロータリーソング それでこそロータリー

● ゲストの紹介

岐阜県多文化共生推進員 糸田 恵子 様

● 会長の時間 会長 坂之上 健一

皆さんこんにちは。今月の「ロータリーの友」23ページをご覧になりましたでしょうか。8月に地区補助金を受けて工業高校で行った親子体験事業が1/2ページの枠で掲載されておりますので是非ご覧ください。



さて今月のロータリー月間は「疾病予防と治療月間」となっております。ロータリーの友12月号では「がん」を予防するために」というタイトルで5ページにわたり特集を組んでいます。私たちは「がん」について聞きなれすぎていてあまり真剣に予防について考えていないような気がします。しかし、実際に身内で「がん」にかかってしまった方がいると初めて予防について考えるのではないのでしょうか。

「ロータリーの友」の中から、今日からできる「がんの一次予防」について一部を紹介したいと思います。まず「がん」を発症する要因は（喫煙・飲酒・塩分摂取過剰・野菜や果物の摂取不足・運動不足・肥満）などが発症率の65%（喫煙は約30%）となっております。

その中から、タバコについてお話をしたいと思います。タバコの煙には多くの発がん性物質が含まれており、喫煙歴が長いほど高くなり喫煙者の肺がんリスクは、非喫煙者に比べ男性で4.5倍、女性で4.2倍となり他の「がん」のリスクもたかめるそうです。そして、タバコが燃えている周囲に出る煙「副流煙」には喫煙者がフィルターを通して吸い込む煙よりはるかに高濃度の有害物質を含み、肺がんのリスクも約2倍

になるそうです。

この結果を考えると、タバコの煙には「がん」を発症させる有害な物質が多く含まれており、喫煙者より吸わない人のほうが「がん」にかかるリスクが多くなる事を改めて認識させられました。喫煙者の皆さん、今日からさっそく禁煙に取り組み、自分自身にもそして周りの方にも健康な体づくりについて真剣に考えてはいかがでしょうか。

詳しくは「ロータリーの友」12月号をご覧ください。

● 幹事報告 幹事 堀口 裕之

■ 国際ロータリー第2630回地区ガバナー事務所より

・年末年始休暇のお知らせ

12月27日（金）～1月5日（日）

まで

緊急連絡先 090-8679-3203 地区代表幹事 井熊信行

・バギオ基金への寄付のお願い

・バギオ基金事業報告書

■ 国際ロータリー第2630回地区ガバナーエレクト事務所より

・年末年始休暇のお知らせ

12月27日（金）～1月5日（日）まで

緊急連絡先 090-3307-7957 次期地区代表幹事

中田 学

■ 高山ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

1月2日（木）休会 定款により

1月9日（木）17:30～ 新年例会 洲さき

1月30日（木）休会 定款により

◀ 会報 ▶

・美濃加茂 RC



●多文化共生について

岐阜県多文化共生推進員 糸田 恵子 様

こんにちは。糸田恵子と申します。今日は呼んでいただきありがとうございます。高山市の海外戦略室からお話をいただき、多文化共生活動についてお話しなさいということで、このような機会をいただきました。



高山市は今、たくさんの海外からの旅行者がいらっやっやって、古い町並みなど行くと、「ここはどこ国だろう？」と思うような姿です。でも、私は、外国からの旅行者ではなく、高山に住んでいる外国人と長く関わってきました。地味な活動なんですけど、今日は、そんな活動もあるのかと思って聞いていただけたらと思います。私がどんなことをしているかといいますと、この20年、日本語教師をしながら外国人の困ったことの相談に乗ったり、いっしょに勉強したり遊んだりしている。飛騨高山国際協会の市民外国語講座の中の日本語講座で講師を始めて19年になります。高山市教育委員会で外国籍児童生徒の日本語支援員をしています。久々野 新宮 清見 花里 松倉 東山 中山 江名子 普通の先生たちよりあちこちしているので、本当に知り合いは多くなりました。現在やっている日本語講座は、一応入門クラス・子どもクラス・初級クラスと分けていますが、その中でもレベルはバラバラ。それをクラス形式でやるのはとても大変です。とても一人一人の外国人のレベルや学びたいニーズに応えることなどできません。

それでも、この講座が社会とつながる唯一の場所という方もみえるので、外国人の方が孤立したり、困っていたりのお話を聞きながら続けてきました。毎年日本語教室でひな祭りやお茶会、飲み会等をしています。そんな中で、ひな祭りは毎年必ず開いてきたので変化がよく分かります。日本語教室を始めたころは、いろいろな国の人がいました。スイス・オランダ・イギリス・オーストラリア・タイ・中国・ロシア・カナダ・フィリピンなどいろいろな国籍の方がみえました。暮らしている形も様々で、英語の先生、レストラン経営、主婦、自称アーティストという方もみえました。それが、日本語教室を始めて4～5年目から急に中国人の方が増え始めました。その状況は10年近く続きました。一時は10人くらいのクラスが全員中国人という時もあったくらいです。働きに来ていた方もあれば、日本人と結婚して定住という方もみえました。よく、「糸田さん日本語を教えるって、英語がしゃべれるの？」とか言われるのですが、私は日本語教師なので、基本どこの国の方でも相手にします。今増えているベトナム人の学習者さん、すみません。私ベトナム語全然わかりません。という感じですが、別にコミュニケーションできなくは

ないです。そういうスキルを上げるのが日本語教師なので。ただ、媒介語というのですが、お互に通じる言語があると学習は速く進みます。私は中国語がしゃべれるので、それはとても役に立ちました。中国人のお嫁さんたちの困っていることや愚痴をひたすら聞きました。そのおかげで中国語をしゃべり続ける機会があってありがたかったです。地域の日本語教室というのはただ日本語を教えるということでは終わりません。夫婦生活、家族関係、仕事、子育て、学校での問題、永住問題さまざまな相談が舞い込みます。他に相談する場がなく、やはり日本語教室は社会とつながる場所なのです。家族との間に立って通訳を頼まれることもありました。大げんかの間に挟まって、なんてこともありました。病院につきそったり、学校や行政とのやりとりの間にはいたり、頼まれればありとあらゆることをしてきました。そんな中から、自分のやりたいことを実現したいという人も現れました。何年もつきあって関係を作った人たちとは今は友達になって、パーティーをしたり、行事に呼んでもらったりとよい関係を作っています。ここまでくれば、みなさんしっかり自立していて、仕事も自分で選び家庭も安定して生活しています。けれど、日本語が分からないあいだは、多くの人は日本語があまり必要でない仕事、ホテルの清掃や農業や工場のラインで働くことが多いです。そうすると、日本語でのコミュニケーションがあまりいらないので、働き始めて日本語教室に来なくなって数年後にあった時、まだかたことの日本語。

「何年たっても話せるようになってない」という人も実際にいます。これは、ちょっと残念に思いますね。さて、外国籍の子供の支援について少しお話しします。小学校4年生の時に日本語ゼロの状態呼び寄せられてポンと学校に入りました。学校での支援を始めて10年目になりますが、途切れません。今年法改正があって、今後はより日本で働く外国人は増えますので、伴って子供も必ずもっと増えると思います。日本語がわからずに学校に入る子供たちの苦勞をされているだけに、今後はどうなっていくんだろうとかなり危惧しています。日本で生活する外国人をとりまく状況は今年大きく変わりました。ご存じだとは思いますが、そんな中で多文化共生ということばを耳にするようになってきました。外国人労働者というと、長い間安く使える労働力という感覚があったとおもいます。外国からの労働者たちの中には、いまだに非常につらい状況で働いている人がいます。今後、日本は働きたい国として選んでもらえなくなると思います。

それから、困っているのは外国人労働者だけではないですよ。これは日本人側も困っている部分があるかもしれませんが、日本語が分からない。伝わらない。という困り感は当然ながらよく聞きます。外国人側から言うと、飛騨弁でわ～っとしゃべられても全然分かんなくてことですね。日本人側からいうと、忙しい仕事の中で、丁寧に教えている時間な

どない。早く日本語覚えてほしい。外国人労働者に対する日本語教育の保証は、国として考えてほしいところです。やさしいにほんごという言葉があって、あまり日本語が上手でない人にもつたわりやすい日本語のしゃべり方というのがあります。特に、自国である程度日本語を勉強してきた人は、その学習段階によって持っている語彙があるので、だいたいそれに合わせてあげればより優しい日本語になります。敬語は、日本語の初級段階の一番最後にやっと勉強するものなので、極力敬語は使わない方がかえって親切です。あとは、「そして、ただし」のようなつなぐことばを省いて短い文で話す。語彙は簡単なものをえらぶ、例えば、「明日は予約が多いので、休みの日ですが出勤してほしい」なら、「あした、ワンさんやすみですね。でも、あした、お客様たくさんきます。とてもいそがしいです。ワンさんあしたしごとします。いいですか？」体調が悪そうなときに「具合悪いの?」と聞くより

●国際奉仕委員会

委員長 植木 眞吾



出席報告



「どこがいたいですか?熱がありますか?」と聞く方が圧倒的に通じます。

高山の多文化共生活動は?ということですが、残念ですが、非常に意識が薄いと思います。高山にはボランティアの日本語教室がありません。以前ボランティアを募集してみましたが、続きませんでした。フレスポにあるまちづくりスポットを会場にして開かれた多文化共生イベントがありました。こんな形で住んでいる外国人と交流する機会は非常に少ないですし、そして、こういう場に出てくる外国人は支援を必要とはしません。すでに自分の立ち位置は確立している人たちです。本当に困っている人たちはこういう場所すら知りません。日本語を勉強したいけれど地理的にも時間的にも無理だという人もいます。会社の経営者として外国人を受け入れておられる方もここにおられるかもしれませんし、いろいろな捉え方、考え方ももちろんあると思います。

これから高山はもっと定住する外国人、高山で働く外国人が増えることは間違いありません。多くの飛驒人が、地域で暮らす外国人、職場で共に働く外国人のことを気かけ、何か困っていることはないか、一緒にできることは何かと考えて、外国人にとって住みやすい街になることが、高山を訪れる外国の方たちにとっても高山の魅力をより高めることにはなるのではないかなと思います。これで終わります。ありがとうございました。

ニコニコ発表



◀ニコニコBOX▶

岐阜県多文化共生推進員 糸田恵子様のご来訪を歓迎致します。後程はお話をよろしくお願い致します。

理事役員一同

ガバナーエレクト壮行会には、わざわざ1時間半の会の為に何時間も掛けてご出席頂いた次期AG・CCの皆様、次期地区幹事の皆様に感謝申し上げます。そして不祥事の無い様に国際協議会で勉強して参ります。それと、スイスイ会で優勝させて頂いたお礼です。

劔田 広喜

アフガンで長年に渡り人道支援に携わっていた中村医

師が銃撃され亡くなりました。痛恨の極みです。好きな言葉に天台宗の最澄の言葉「一隅を照らす」を挙げておられました。国際貢献の鏡です。振返って我が国の政治は会で覆い隠すばかり。一般人には桜は中々見れず、見るのはバカばかりです。 鷲塚 英雄

新年例会のアトラクションで皆様の小学生より小さい頃の写真を使用したいと考えております。今のうちに探しておいてください。お願いします。 高木 純

本日、早退します。すいません。

都竹 太志 海老沢 玲子 小出 貴博